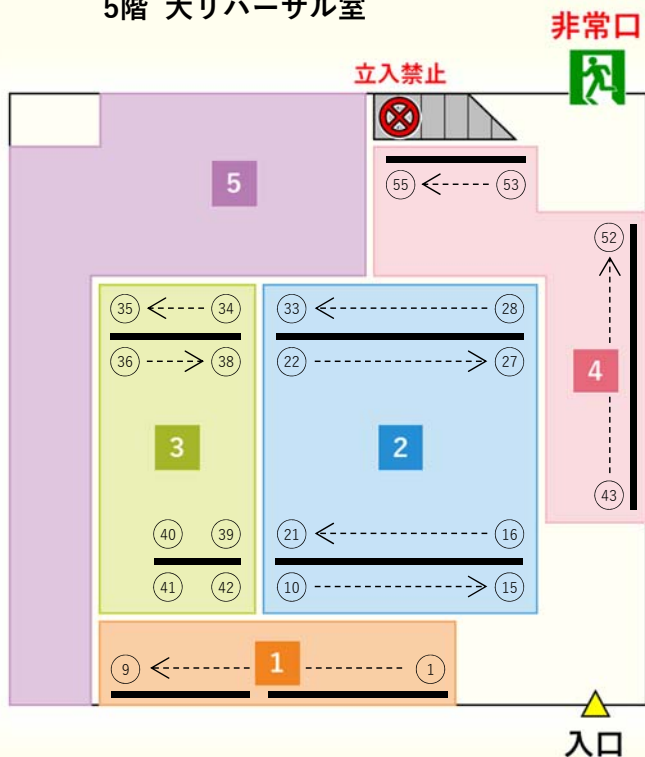


平成 30 年度 福島研究開発部門 成果報告会 ポスター会場マップ

会場：いわき芸術文化交流館アリオス
5階 大リハーサル室



1 連携協力機関

- ① 新規ウラン吸着剤の合成と評価
- ② 固体試料中のSr分析を目的とするカスケード型ICP-MS法の開発
- ③ 表面電離型質量分析法のSr分析におけるタンタルの効果
- ④ 深層学習を用いた放射線源分布の推定
- ⑤ 原子炉格納容器鋼の強度への加熱の影響
- ⑥ 光硬化型樹脂を用いた止水技術に関する研究
- ⑦ JAEAとの連携によるロボットシュミレータの活用
- ⑧ 原発事故被災地の復興に向けたボランティア・ネットワークの取組と課題—双葉郡未来会議を事例に—
- ⑨ 震災関連の公文書等の保管と公開に関する一考察

2 廃止措置に向けた研究開発

- ⑩ 格納容器の壁の腐食を予測する—放射線の腐食への影響—
- ⑪ 格納容器内の線量率分布を予測する
- ⑫ 放射性微粒子の正体は？
- ⑬ シビアアクシデントの影響評価における不確かさの低減を目指して
- ⑭ 東京電力福島第一原子力発電所プラント内核種移行に関する調査
- ⑮ 格納容器の底に何があるのか
～溶融燃料とコンクリートの溶融固化物の特性～
- ⑯ 燃料デブリの形状変化を予測する
(燃料デブリの経年変化における物理学的メカニズムに関する研究)
- ⑰ 物性データから推定する燃料デブリの様子
- ⑱ 廃棄物の分析や保管などの研究開発
- ⑲ 汚染水処理で発生する廃棄物の放射能を測る
- ⑳ 福島第一原子力発電所敷地内のがれきの再利用の安全性をどう評価するか
- ㉑ 放射性二次廃棄物に起因する環境負荷低減方策に関する研究開発
～環境に優しい解体技術の実現に向けて～
- ㉒ 太陽電池を応用した高レベル放射線環境のための線量計開発
- ㉓ 固体廃棄物のレーザー分光分析のためのファイバプローブの開発
- ㉔ 中性子による3次元可視化技術の廃炉研究開発への活用
- ㉕ 福島第一原発の汚染状況を把握するためのカメラを開発
- ㉖ 光ファイバーで放射線の分布を測る
- ㉗ 画像からプラントの構造物を立体化する
- ㉘ 機械学習を用いてレーザスキャンデータからプラントの構造物を識別する
- ㉙ ロボットの地図作成技術 (SLAM) の性能を試験・評価する方法の開発
- ㉚ ロボットの動きをより忠実にシミュレートする
- ㉛ JAEA施設における原子力災害に備えた緊急事態支援組織の運用及び防災資機材の整備
- ㉜ 放射性物質分析・研究施設第1棟の整備状況
～福島第一原子力発電所由来の放射性廃棄物の処理・処分に向けて～
- ㉝ 廃炉を進めるための分析技術について～効率性及び分析作業者の被ばく量低減を目的とした分析技術の開発～

3 環境回復に係る研究開発

- ⑳ ウェブを通じて福島に環境回復に係る研究成果をより身近なものへ
- ㉑ 大気中の降下物や浮遊物を生き物を使って測ってみよう
- ㉒ 遠くから放射線を測る—上空からの放射線測定技術—
- ㉓ 除染した後の線量率は地面が違うとどう変わるか？
- ㉔ 放射性セシウムは町のどこにどれだけ存在するか？
- ㉕ 河川の放射性セシウム濃度、減少続く
- ㉖ 河口・沿岸域における海底土の放射性セシウムの広がり
- ㉗ 河川水系での放射性セシウムを吸着する鉱物の特徴について
- ㉘ 日常生活を通じて、どこから、どれだけ被ばくしているのか？

4 組織・施設・制度紹介

- ⑳ ふくしまの復興に向けて
- ㉑ 国内外の英知を結集する拠点
- ㉒ 福島第一原子力発電所 (1F) の廃炉を着実に進めるために必要な分析・研究を行う施設
- ㉓ ふくしまの環境回復に向けて環境動態や放射線モニタリング等の研究開発を実施
- ㉔ 福島研究開発部門の人材育成における取組み
- ㉕ 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
- ㉖ 福島原子力事故関連情報アーカイブ(FNAA)
- ㉗ 成果情報
- ㉘ 成果展開事業
- ㉙ 施設供用制度
- ㉚ 廃止措置等に向けた遠隔技術開発の支援を行う施設
- ㉛ 櫛葉遠隔技術開発センター試験設備の紹介
- ㉜ 櫛葉遠隔技術開発センター施設利用事例の紹介

5 展示／体験ブース

無人ヘリ展示、VR (バーチャルリアリティ) 体験

※ポスター配置及び展示／体験ブースの内容が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。